

## 医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院治療就労両立支援センター
研究課題名*	がん患者に対する治療と仕事の両立支援
所属科*	大阪労災病院治療就労両立支援センター 両立支援部
研究責任者*	本田優子
研究実施期間	開始 西暦 2022年 3月 23日 ~ 終了 西暦 2025年 3月 31日 (予定)
対象疾患(予定症例数)	症例
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 年 月 日 ~ 至 西暦 年 月 日
研究概要*	<p>目的：</p> <p>近年、がん治療をめぐっては5年生存率が延伸され、治療形態も入院治療から外来治療が主となり治療期間が長期化する中、治療と仕事を両立するがん患者が増えている。また、その後押しとして、「治療と仕事の両立支援」（以下、両立支援）は、がん対策基本法やがん対策推進基本計画に明記され、がん患者に対する支援の中でも重要な位置づけとなっている。労働者健康安全機構（以下、当機構）は、全国の医療機関・企業等向けの両立支援コーディネーター研修の開催、労災病院群による事例収集を行い、両立支援における研究・人材育成を通して普及に努めているところである。一方、がん相談現場では、両立支援は対応に苦慮する相談であるとの報告があり、支援現場に浸透を図ることが課題である。そこで、当機構での両立支援の現状を分析し、これらの課題を克服する方策を検討する。このことは、両立支援を労災病院群以外の病院へ水平展開するための根拠となりえるとともに、長期的には多くのがん患者の治療と仕事の両立生活の実現に寄与すると考える。</p> <p>方法：</p> <p>労働者健康安全機構が有する、匿名化された両立支援実施事例のデータベースより、がん事例（年齢制限無し）を抽出し、その両立支援に関するデータを解析することにて本研究を完</p>

別紙第2号様式

	施する。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	個人情報の保護に関しては、使用するデータベースは登録時点で個人を識別することができる情報の全部又は一部を取り除き、代わりにその人と関わりのない符号又は番号を付している。また、個人を識別できないように、その人と新たに付された符号又は番号の対応表を残さない連結不可能匿名化を行う。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院治療就労両立支援センター 本田優子 072-252-3561 (PHS:4273)

\*記入必須項目